

# 地震による家具類の転倒を防止しよう

## 1. なぜ転倒防止対策が必要か？

近年発生した大きな地震でけがをした人のうち、約3～5割が家具類の転倒・落下・移動によるものでした。家具類の転倒・落下・移動は直接あたってけがをするだけでなく、転倒した家具につまずいたり、割れた食器やガラスをふんだり、転倒した家具が出入口をふさいだりするなど、地震発生後の避難行動にも支障をきたします。

こうした被害の軽減を図るために、日頃から家具類の転倒防止対策が必要です。

### ●近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合（東京消防庁調べ）

地震名	発生日月	最大震度	割合
熊本地震(高層マンション)	H28年4月14日	7	40.0%
熊本地震(一般住宅)	H28年4月14日	7	29.2%
岩手・宮城内陸地震	H20年6月14日	7	44.6%
新潟県中越沖地震	H19年7月16日	6強	40.7%
能登半島地震	H19年3月25日	6強	29.4%
福岡県西方沖地震	H17年3月20日	6強	36.0%
新潟県中越地震	H16年10月23日	6弱	41.2%
十勝沖地震	H15年9月26日	7	36.3%
宮城県北部地震	H15年7月26日	6弱	49.4%



## 2. 現在の自宅の状況は？

まずは自宅の家具の配置などを見直し、被害を減らしましょう。

### ●部屋のチェックポイント

- 寝室、子供やお年寄りのいる部屋には倒れそうな家具を置かない。
- 家具の向きなどを工夫し、室内に逃げ場となる安全な空間をつくる。
- 部屋の出入口や通路には家具を置かない。
- 重いものを下に置く。
- 火気の周辺に家具を置かない。
- 家具の上に落下すると危険なもの（ガラス製品等）を置かない。



## 3. 家具転倒防止器具を設置しよう

家具転倒防止器具を設置し、被害を減らしましょう。

### ●地震動に対する家具転倒防止器具の効果（東京消防庁の実験、震度6強の揺れを再現し実施）

使用条件	小 → 地震動に対する器具の効果 → 大	取付条件
単独で使用した場合		家具、壁面の取付け部分や器具自体に十分な強度が必要
組み合わせて使用した場合（一例）		家具の天板と天井部分に強度が必要

・上記は、東京消防庁が実施した実験において使用した器具の効果を相対比較したものです。  
 ・使用する家具や室内環境、器具の性能により、今回の結果が異なる場合も想定されます。

# ●主な家具転倒防止器具の種類・設置方法

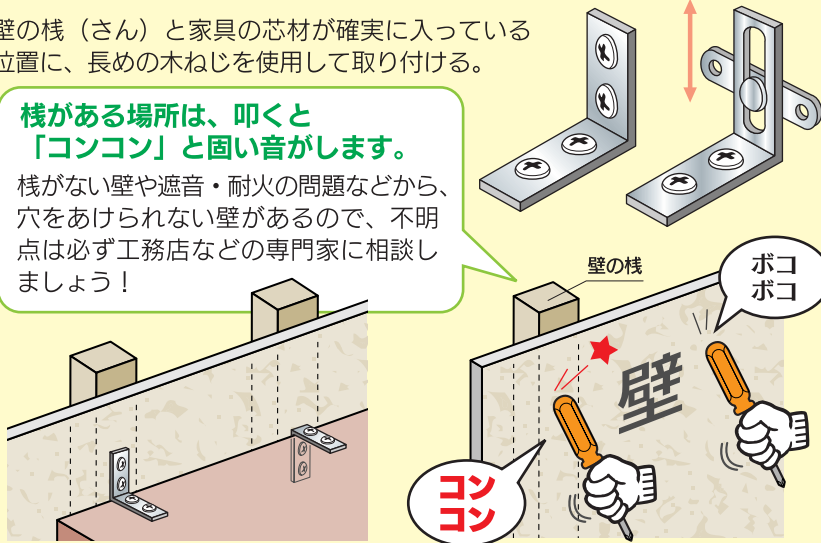
## ○家具と壁を直接固定するタイプ

### ●L字金具 金具で家具と壁を直接固定するタイプ

壁の棧（さん）と家具の芯材が確実に入っている位置に、長めの木ねじを使用して取り付ける。

棧がある場所は、叩くと「コンコン」と固い音がします。

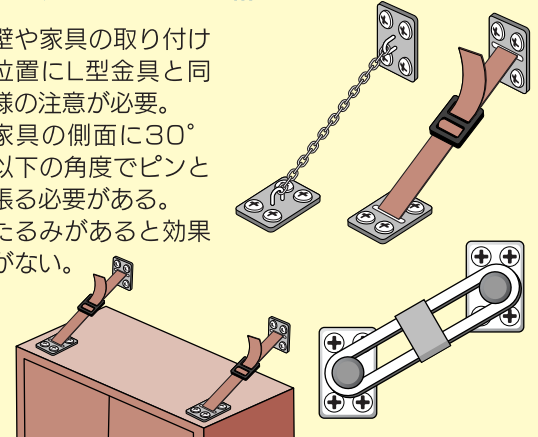
棧がない壁や遮音・耐火の問題などから、穴をあけられない壁があるので、不明点は必ず工務店などの専門家に相談しましょう！



### ●ベルト式器具・チェーン式器具・プレート式器具

家具と壁をそれぞれネジ止めした金具を、ベルト、チェーンなどで結ぶタイプ

壁や家具の取り付け位置にL型金具と同様の注意が必要。家具の側面に30°以下の角度でピンと張る必要がある。たるみがあると効果がない。

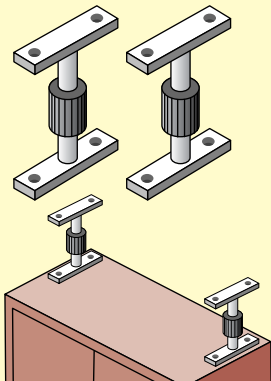


## ○家具と壁を直接固定しないタイプ

### ●ポール式器具（突っ張り棒）

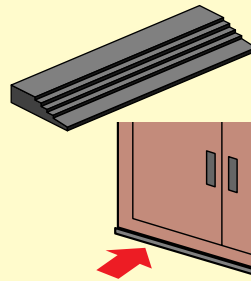
家具と天井との隙間に設置する棒状のタイプ

家具の両側の側板の位置に設置する。天井に家具を支えるだけの強度がないと効果が少ない。天井側に厚めの板を渡し、板・家具とポールをねじ止めすると効果的。家具と天井との間が大きく空いている場合や奥行きのない家具には効果がない。



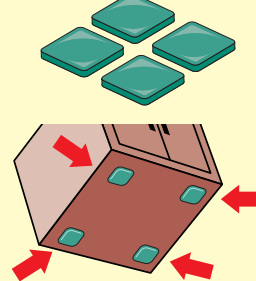
### ●ストッパー式器具

家具の前方下部に挟み家具を壁側に傾斜させるタイプ



### ●マット式器具

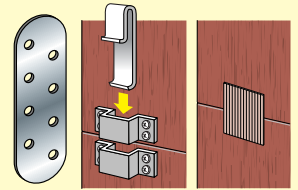
粘着性のゲル状のもので家具の底面と床面を粘着させるタイプ



### ●家具用連結金具

家具の上下を連結し転倒、落下を防ぐタイプ

ネジ止めするための平金具や「かんぬき」状の金具、シートタイプなどがある。



●ポール式器具とストッパー式またはマット式器具を組み合わせると、単独で使用するよりも効果が高くなります。

## その他の器具等

- 開き扉ストッパー……………開き扉内の収納物の落下防止
- ガラス飛散防止フィルム……窓ガラスや食器棚などのガラス飛散を防止
- 防災カーテン……………火災による二次被害の軽減・窓ガラスの飛散防止
- ビン類落下防止……………棚などに置いている瓶の落下防止



器具はホームセンター等で購入できます。実際の家具の固定については、器具の購入先や工務店、建築士などの専門家に相談しましょう。